

大原 京都より三里、八瀬より一里北也。○中略

瀬井清水 大原の里にあり。○中略

御影山 賀茂也、ひえいざんのふもととやせの里也、俗にみあれ山と云。○中略

神樂岡 吉田山春日の社より南の方茂りたる松の木高き林のうちに小社有、是神樂岡の神、吉

田の地主也。○中略

雲の林 雲林院の事か、梶井殿とて、一條大宮より北に千本近くに御門跡の御所也、舟岡と北野

との間也。○中略

中川 北島より一條東洞院へ流れたり、今出川共いへり、京極川とも云り、源氏かたがへの夜

うつせみの尼の住ける、中川の宿といへるは、此あたりなりといへり、

滋野井 勘解由小路と、中の御門の間也、

鹽竈 六條高倉にあり、融大臣の舊跡也、

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page, largely illegible due to fading.]*